

山田小児童が定置網漁を体験 地元漁業への理解を深める

地元漁業への理解を深めようと、10月6日、山田小学校(三浦秀行校長、児童349人)の5年生28人が、定置網漁を体験しました。三陸やまだ漁業協同組合(生駒利治代表理事組合長)の協力により行われたもので、児童たちは、山田漁港から新釜漁場へ移動。漁師の皆さんとともに重い網を引き上げ、サバやイナダなどの魚が水しぶきを上げすくい上げられると、目を丸くして見入っていました。参加した稲川颯介君は「一度に多くの魚を取る様子を見るのは初めて」と感動した面持ちでした。



秋のさわやかウォーキング 14人が漣磯海岸の絶景堪能

船越半島の漣磯海岸を目指す「さわやかウォーキング」が9月27日に行われました。日ごろの健康づくりに役立ててもらおうと町が主催したもので、参加した14人は、色づき始めた木々などに秋の深まりを感じながら漣磯口から目的地までの往復約6キロの道のりに挑戦しました。1時間半かけて到着した漣磯海岸では、打ち寄せる太平洋の荒波など外海ならではの絶景をしばし堪能。その後は上り坂の多い帰り道も苦にせず、それぞれのペースでゴールまでの行程を楽しんでいました。

山田町長杯第1回将棋大会 棋士らが静かな戦いを展開

山田町長杯第1回将棋大会が10月10日、飯岡コミュニティセンターで開かれました。初めての開催となった本大会は、山田将棋愛好会(川村誠会長)が主催したもので、町内の棋士10人が参加。対局は、一局の持ち時間を各20分とする総当たり戦で進められ、棋士たちは盤上を真剣な面持ちで見つめ、静かな戦いを展開しました。一進一退の難局を制し優勝に輝いたのは、黒澤由次さん(船越・40歳)。「対局では、実力以上の力を発揮することで、今後の糧となる大会となった」と、喜びを語りました。



「小中学生交流大会」で上位入賞 本町ちびっこ力士が大活躍

10月10日に、八幡平市で「小中学生交流大会」が開かれ、県内のちびっこ力士85人が参加。本町からは、山田小学校相撲クラブ(盛内俊彦監督)の児童10人と園児2人が参加し、上位入賞の活躍をしました。盛内監督は「来年は今年以上の活躍に期待したい」と、抱負を述べました。

◆入賞選手 ▶ 3歳以下幼児の部優勝…田代啓人(3歳)
▶ 6歳以下幼児の部2位…佐藤泰士(6歳) ▶ 小学生1・2年生の部2位…田代啓人(山田小1年) ▶ 小学生3・4年生の部3位…豊間根拓夢(山田小4年)《敬称略》



町のわたい

今月の題字 佐々木 夕梨夏さん（豊間根小2年）



オランダ島で校外学習 山高生が復旧経過など探る

10月1日、山田高校^{まなぶ}（宮 学校長、生徒111人）の2年生31人は、オランダ島で校外学習を行いました。「総合的な探究の時間」の一環として取り組まれたもので、テーマは「海の復活」。身近で貴重な地域資源であるオランダ島での観察や町職員らへの聴き取りを通し、復旧までの経過や今後の活用策などについて理解を深めていました。この日は、町主催による島内での清掃活動や避難訓練も行われ、初の試みとなった高台への避難訓練では、生徒の皆さんの協力で避難にかかる時間の実測データなど、今後の参考となる資料を得ることができました。

浦和レッズのサッカー教室 元プロ選手たちと交流

9月30日から10月1日にかけて、浦和レッズハートフルクラブによるサッカー教室が、町内の小中学校などで開られました。9月30日に行われた、船越小学校^{つよし}（多田 校長、児童96人）では、5・6年生33人が参加。講話や実践を通じコーチたちとの交流を深めました。講師を務めた落合弘^{ひろし}キャプテンは、サッカーを通じて仲間とのコミュニケーションの大切さなどを力説。その後のコーチと児童の混合チームによるミニゲームでは、時折、華麗なボールさばきを披露。児童たちは元プロ選手たちの技を目の当たりにし、楽しそうにグラウンドを走り回っていました。

